

特記仕様書（解体工事編）

令和8年度蕨岡生活改善センター解体

工事

I 工 事 概 要

1. 工 事 内 容

2. 工 事 場 所

3. 敷 地 面 積

4. 構 造・規 模

5. 建 築 面 積

6. 主 要 用 途

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

◎印と⊗印のついた場合は共に適用する。

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。

(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。

(5) 特記事項に記載の＜ ＞内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

(6) [G]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。

章

項 目

特 記 事 項

1

一般共通事項

○ 適用基準等

※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）

※ 建設副産物適正処理推進要綱

※ 建築材料等評価名簿

※ 工事写真撮影ガイドブック

電気保安技術者

適用する

適用しない

施工条件

施工時間帯

※ 指定なし

指定有り

部位別の施工順序

※ 指定なし

指定有り

発生材の処理

引き渡しを要するもの

現場において再利用を図るもの

○ 再生資源化を図るもの

コンクリート塊

アスファルトコンクリート塊

建設発生木材

※ 廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

施工数量調査

調査項目

調査範囲及び方法

※ 図示

技能士

工事写真・完成写真

※ 下記のを監督職員に提出する。工事写真については、隠ぺいとなる部分は 全て写すこと。

区分

分類規格

撮影枚数

部 数

着工前及び工事中

カラー

※ サービス版

工程毎

1 部

完 成 時

カラー

※ キャビネ版

枚

部

カラー

※ 全紙版(アルミ額縁入)

枚

部

デジタル写真も可とし、その仕様も含め 1 適用基準等の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。

※ 上記の他、着手前及び完成写真内外 6 面程度(カラーサービス版)、及びその画像データ(JPEG形式で200万画素程度)を完成検査時に1部提出する。

※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。

2

仮設工事

○ 騒音・粉じん等の対策

騒音・粉じん等の対策

※防音パネル

○防音シート

設置範囲及び高さ

※図示

足場等

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

○ 設置する

設置範囲

※ 図示

設置しない

防護シート

※ 設置する

設置範囲

※ 図示

設置しない

内部足場

※ 設置する

※脚立、足場板等

設置しない

材料、撤去材等の運搬方法

種別

※A種

※B種

※C種

※D種

※E種

監督職員事務所

※ 設けない

工事用水

構内既存の施設

※ 利用できる

※ 有償

※ 無償

○ 利用できない

工事用電力

構内既存の施設

※ 利用できる

※ 有償

※ 無償

○ 利用できない

3

解体工事

事前措置（洗浄等）

浄化槽、排水槽等の汚水、汚物等

廃油

杭

杭の解体

行う

図示

行わない

杭の解体方法

引抜き工法

破砕工法

工作物

さく、照明設備等の解体

行う

図示

行わない

樹木等

樹木の伐採伐根及び移植

行う

図示

行わない

地下埋設物及び埋設配管

地下埋設物・埋設配管の解体

行う

図示

行わない

整地

解体後の埋戻し及び盛土

行う

図示

整地高さ

現状GL

埋戻し及び盛土の材料

A種

B種

C種

D種

建設汚泥から再生した処理土または土工用水砕スラグ

G

行わない

4

建設廃棄物の種

○ 再資源化等

建設廃棄物等の中間処理及び再資源化

図示

木材を指定建設資材廃棄物として縮減する場合

図示

現場利用する再資源化された建設廃棄物

図示

産業廃棄物広域認定制度

種 類

所 在 地 等

最終処分する建設廃棄物

最終処分する建設廃棄物及び最終処分場

図示

処理に注意を要する建設廃棄物

処理に注意を要する建設廃棄物の処理

図示

5

特別管理産業廃棄物の処理

施工計画調査

分析調査

調査項目

行う

行わない

特別管理産業廃棄物の処理等

PCBを含む機器類の処理

微量PCBの分析調査

行う

行わない

PCB含有シーリング材の処理

第一次判定

現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。

採取箇所数

計 箇所

採取場所

※図示

第二次判定

専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

分析箇所数

計 箇所

除去処理工事

除去範囲

※図示

廃油

※解体共通仕様書5.3.1による

廃酸・廃アルカリ

※解体共通仕様書5.3.1による

ダイオキシン類

サンプリング調査

行う

行わない

解体方法及び処分方法

図示

行わない

6

石綿含有建材の除去等

○ 石綿含有分析調査

調査

※ 石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料

アスベスト調査報告書

分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材 料 名

定性分析

JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2

定量分析

JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4

箇所数

箇所数

箇所数

箇所数

箇所数

箇所数

箇所数

箇所数

サンプル数

1 箇所あたり 3 サンプル

採取箇所

図示

7

特殊な建設副産物の処理

施工計画調査

分析調査

調査項目

行う

行わない

回収及び処分

図示

石綿粉じん濃度測定

※ 行う

測定時期、場所及び測定箇所数

適応

測定名称

測定時期

測定場所

測定箇所

計 箇所

測定1

処理作業前

処理作業室内

計 箇所

測定2

処理作業室内

計 箇所

測定3

セキュリティゾーン入口

計 箇所

測定4

処理作業中

集じん・廃棄装置の排出

出口吹出し風速1m/sec以下の位置

計 箇所

測定5

処理作業室内

計 箇所

測定6

処理作業室内

計 箇所

測定7

処理作業後

養生中

処理作業室内

計 箇所

測定8

処理作業後

シート撤去後

処理作業室内

計 箇所

測定9

調査対象室外部の付近

計 箇所

測定方法

自動測定器による測定

測定名称

測定方法

測定4

測定5

粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計、パーティクルカウンター）

繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

JIS K 3850-1に基づいた想定

測定名称

メンブレンフィルタ直径(mm)

試料の吸引流量(L/min)

試料の吸引時間(min)

測定4

測定5

25

5

30

測定

47

10

120

測定

47

10

240

石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

図示

除去工法

※解体共通仕様書6.3.2(1)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止

※湿潤化

図形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

埋立処分(管理型最終処分場)

中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲

図示

除去工法

破砕して除去

原型のまま手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化

図形化

除去した石綿含有保温材等の処分

埋立処分(管理型最終処分場)

中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去

除去対象範囲

図示

作業場所周辺の養生

行う

除去した石綿含有成形板の処分

石綿含有せつこうボード

※埋立処分(管理型最終処分場)

石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板

埋立処分(管理型最終処分場)

中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有成型板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去

除去対象範囲

図示

養生方法

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分

埋立処分

安定型最終処分場

中間処理

溶融施設又は無害化処理施設

石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去

除去対象範囲

図示

除去工法

養生方法

除去した石綿含有仕上塗材の処分

埋立処分

安定型最終処分場

埋立処分

管理型最終処分場

中間処理

溶融施設又は無害化処理施設

特記仕様書（解体工事編）

令和4年版

四万十市

令和 8 年 9 月

令和5年7月改正

令和8年度蕨岡生活改善センター解体工事

建 物 概 要					外 部 仕 上 表					付属建物概要・仕上								
工 事 名 称	令和8年度蔵岡生活改善センター解体工事				屋 根	金属板横葺き				自転車置場		倉庫						
工 事 場 所	高知県四万十市蔵岡					7スファルトフェルト 20kg品 野地板 t=12.0				屋 根	小波鉄板葺き		屋 根	小波鉄板葺き				
用 途 地 域 等	指定なし		(都市計画 外)		建ペイ率： % ・ 容積率： %		外 壁	角波カラー鉄板貼り (石膏ボードt=9.0下地)			外 壁	〃		外 壁	角波カラー鉄板貼り			
構 造	主 体	木造平屋建		基 礎	R C造 布基礎				軒 裏	ケイカル板(アスベスト含有Lv3)			基 礎	コンクリート		基 礎	コンクリート	
発注者住所・氏名	高知県四万十市 四万十市長 山下 元一郎				雨 樋	軒	塩ビ 120半円		堅	塩ビ φ90			土 間	コンクリート		土 間	コンクリート	
					小 庇	カラー鉄板葺き #30								建 具	軽量シャッター			
面 積 表	敷 地 面 積		㎡		(坪)		建 具	住宅用アルミサッシ							内 装	構造体現し		
	建 築 面 積		173.90 ㎡		(52.70 坪)		犬 走 り	モルタル塗り金コシ押E RC土間下地										
							基 礎	モルタル刷毛引			構 造	軽量鉄骨造平屋建て		構 造	木造平屋建て			
	1 階床面積		173.90 ㎡		(52.70 坪)		便 槽	RC造			延べ面積	18.09 ㎡		延べ面積	12.01 ㎡			
	延 床 面 積		173.90 ㎡		(52.70 坪)													

内 部 仕 上 表													
階	室 名	床	幅 木	壁		天 井		CH=					備 考
				腰 壁	上 部 壁								
1	玄 関	100角クリンカータイル	同 左	プリント合板t=4.0		化粧石膏ボードt=9.0		2700					下足入
	保 健 室	コンパネt=15下地 クッションフロアー (アスベスト含有Lv3)	木製	プリント合板t=4.0		化粧石膏ボードt=9.0		2800					置き畳6帖
	小会議室(1)	タタミ敷 コンパネt=15下地	タタミ寄せ	プリント合板t=4.0		杉柵化粧石膏ボードt=9.0		2800					
	会 議 室	フロアー合板t=15	木製	プリント合板t=4.0		化粧石膏ボードt=9.0		2800					
	調理実習室	モザイクタイル	タイル	100角カラータイル	プラスター塗り ラスボード下地	化粧石膏ボードt=9.0		2700					流し台2 コンロ台 調理実習台2 回転釜 SUSフード
	小会議室(2)	フロアー合板t=15の上カーペット敷き	木製	プリント合板t=4.0		化粧石膏ボードt=9.0		2800					
	ステージ	フロアー合板t=15の上カーペット敷き	木製			化粧石膏ボードt=9.0		2500					
	便 所	モザイクタイル	タイル	75角カラータイル	プリント合板t=4.0	化粧石膏ボードt=9.0		2500					大便器2 小便器3 手洗器1
	倉 庫	モルタル塗り	木製	ラワン合板t=2.7		ラワン合板t=2.7		2500					木材棚 3 段
	物 置	フローリング	木製	ラワン合板t=2.7		ラワン合板t=2.7		2500					木材棚 3 段



附 近 見 取 図

工 事 概 要

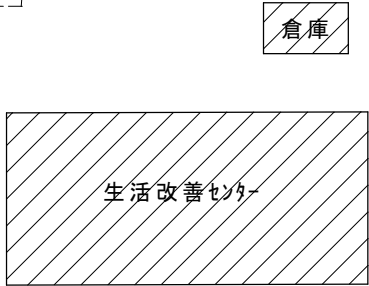
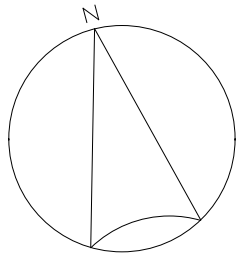
1，生活改善センターは、3面に外部足場及び防音シートにより養生を行うこと。

2，生活改善センター及び倉庫は、基礎撤去の後、敷き均しの上碎石t=100敷きとすること。

3，自転車置場の土間は、存置とする。

4，自転車置場の柱は、土間上で切断し、危険の無いよう処置すること。

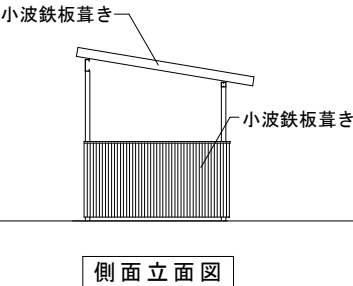
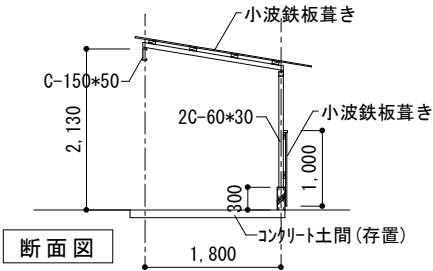
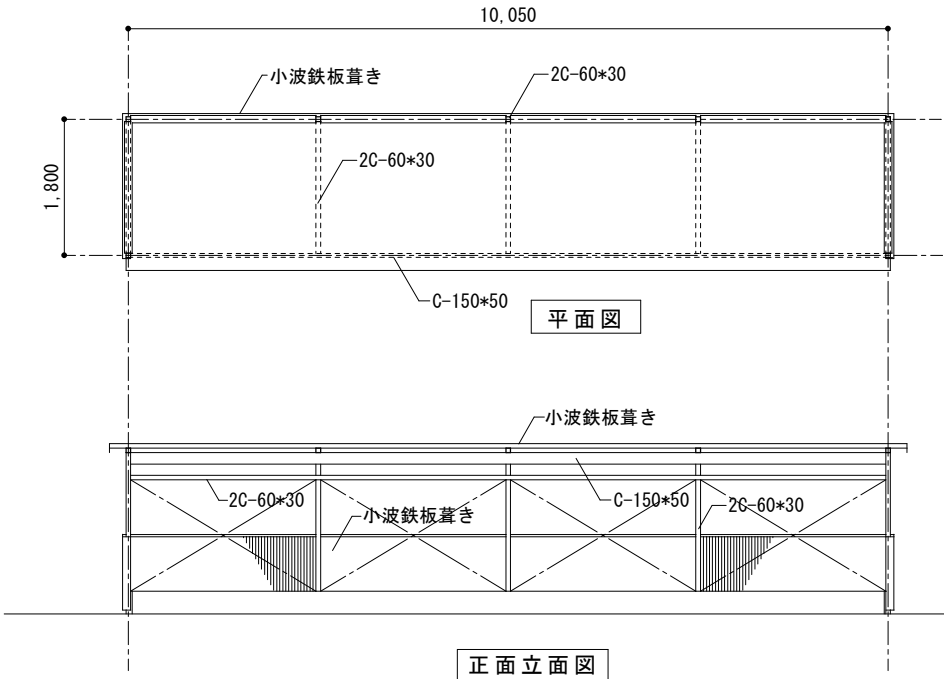
5，建物直下の地中埋設物は、便槽を含め全て撤去すること。



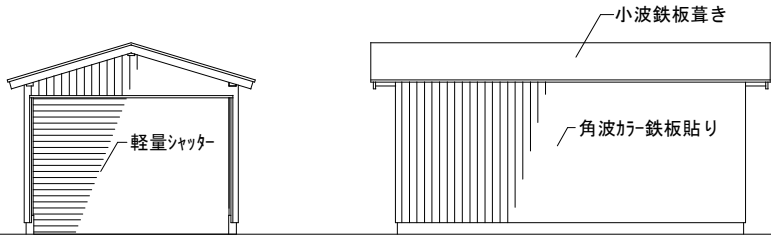
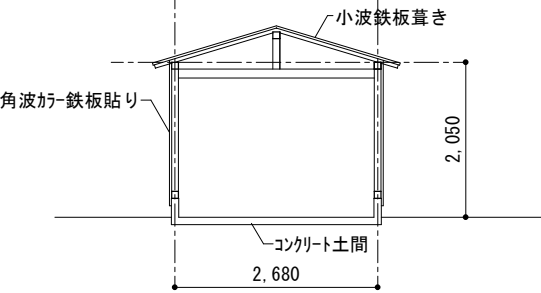
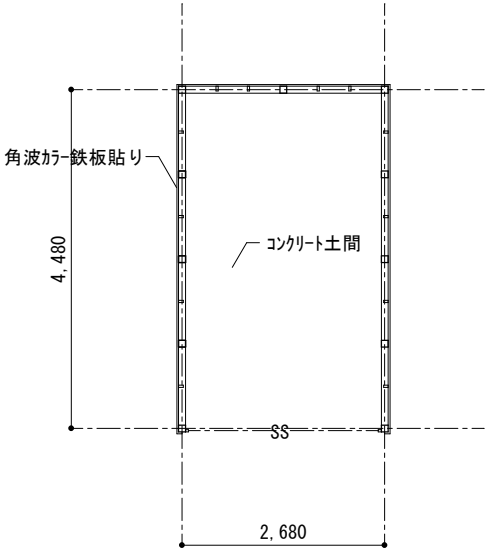
自転車置場

配置図

自転車置場



倉庫



備考 図面に記載なき事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書による。

設計

令和8年9月

四 万 十 市

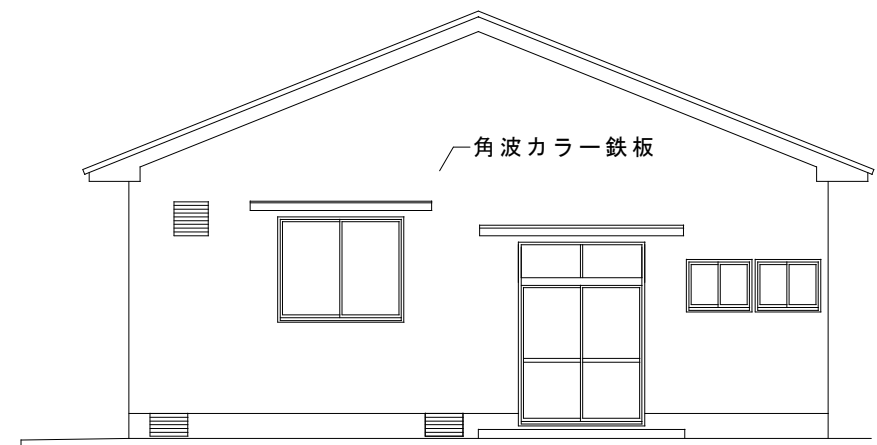
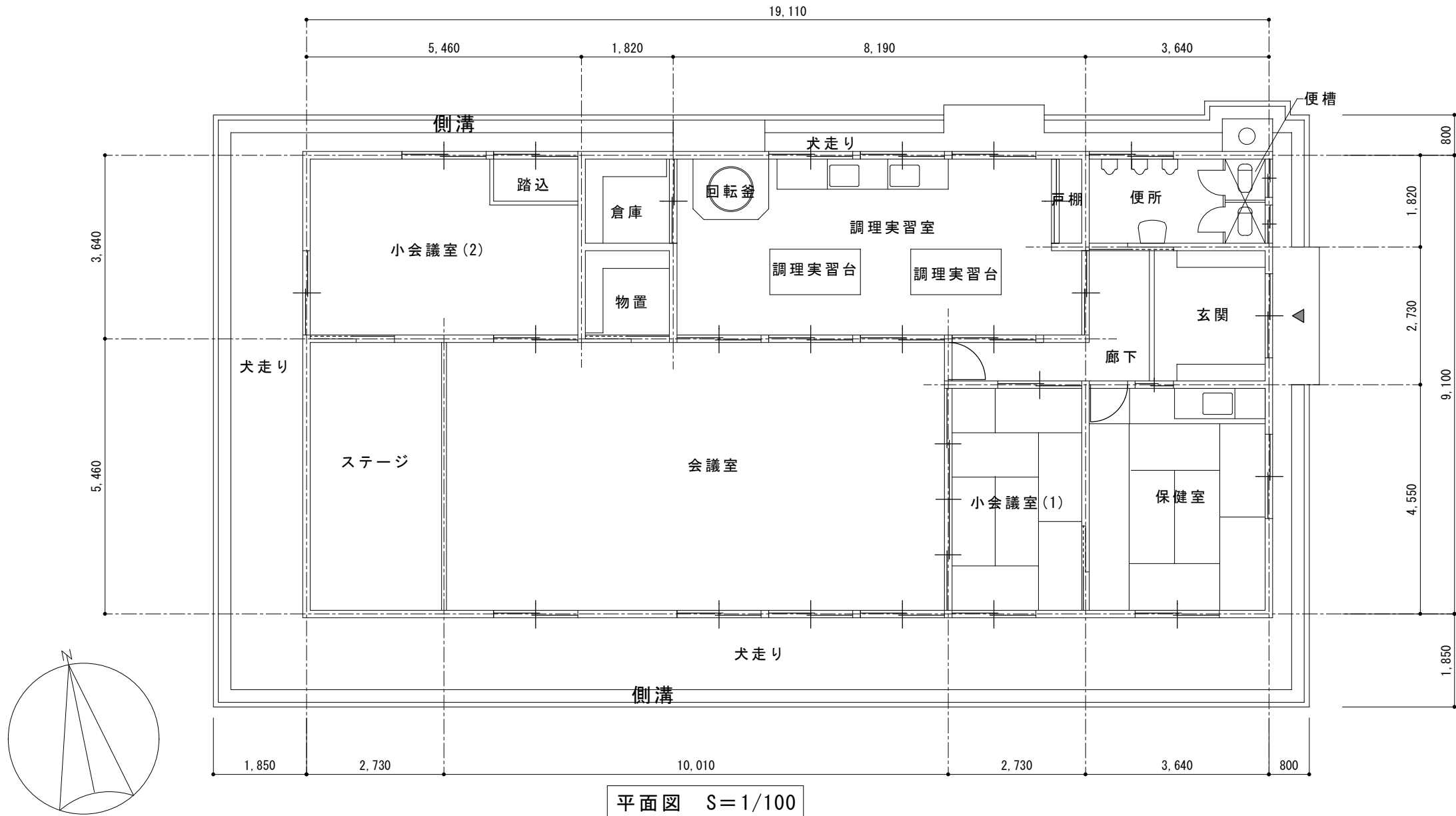
縮尺

工事名 令和8年度蕨岡生活改善センター解体工事

図面名 配置図 付属建物平面図

図面NO.

2



備考 図面に記載なき事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書による。	設計	四 万 十 市	縮 尺	工事名	令和 8 年度 蕨岡生活改善センター解体工事	図面NO. 3
	令和 8 年 9 月			図面名		
				平面図		
				立面図		